

実践記録（小5・総合的な学習の時間）

1 ねらい

インターネットを使うときの注意点を考えることができるようにする。

2 手立て

- ・ 我が事として考えさせる事例動画や、OPP（ワンページ・ポート・フォリオ）シート活用による知識の蓄積

トラブルを我が事として考えることができる事例動画を視聴させた後、学習のめあてや感想・意見を OPP シートに記録し、自分の考えや学んだことを蓄積していくことで、ルール作りの時の基準にすることができるようにする。

- ・ 協働作業でのルール作り

蓄積した知識に、友達の考えや意見を取り入れながら、協働作業でルール作りをしていくことで、互いのルールを共通化させてトラブル防止につなげる。

3 実践の様子

始めに、今までの自分を振り返り、今までの学習の中で一番気を付けたいと思うこととその理由を OPP シートに記入させた【資料1】。ポートフォリオでまとめていることで今までの学習を振り返ることができ、児童はこれから気を付けたいこととその理由を積極的に書く様子が見られた。

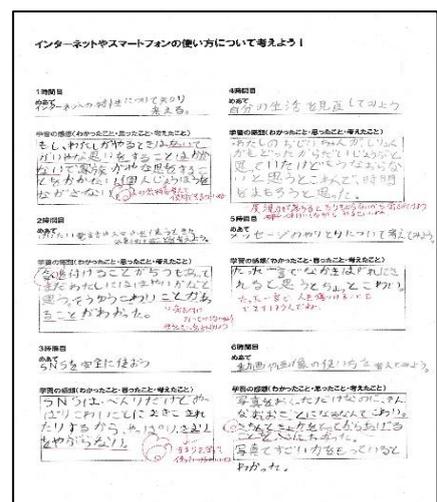
次に、自分が考えたことが「A 自分を守るため」・「B 友達や他人に迷惑をかけないようにするため」のどちらに当てはまるのかを考えさせ、それを基にグループ分けを行った。

そしてグループで、インターネットを使う時に守ったほうがよいルールを協働作業で考えさせた。ルールを作る時には、視点をはっきりさせてルール作りをすることを意識させるようにした。自分が考えたルールとその理由を友達と共有しながら、グループで積極的に話し合ってルール作りをする様子が見られ、それぞれのグループが視点に沿ったルールを発表することができた【資料2】。

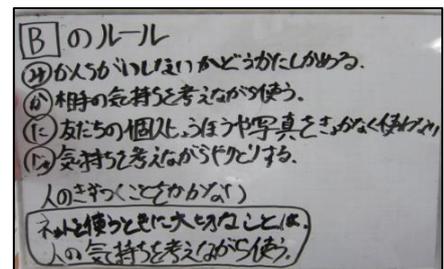
最後に、インターネットを使うときに大切なことを考える場面では、「相手の気持ちを考える」「相手を大切にする」といった記述が見られ、細かいルールを守るのではなく、どういう気持ちで使用すればよいかを考えることができた。

4 成果と課題

- OPP シートを使うことで知識が蓄積され、どんなことに気を付けたらよいかということが多面的に考えることができた。
- 我が事として考えることができるような事例動画を使うことで普段インターネットをあまり使わない児童も積極的に学習に取り組むことができた。
- ルール作りのときに「A 自分を守るため・B 友達や他人に迷惑をかけないため」の区別をうまくできず、まとまらないことがあった。



【資料1】OPPシート



【資料2】児童が考えたルール